

重点プロジェクトのこれまでの取組と令和5年度の予定について

■ 共創のまちぐらし推進プロジェクト

- まちぐらし事業の検討・実施・検証 市民等の創意工夫によるまちぐらしの実現に向けた取組を進めるための実証実験の実施
- まちを学ぶ場の提供 持続的にまちに関わる人材を育てるための学びと実践の場の提供

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（予定）
<p>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催 西部地区再整備事業基本方針に定めた重点プロジェクトの推進にあたり、広く関係者の意見を反映させるため、学識経験者や公募市民などで構成する「西部地区まちぐらし検討会議」を設置。 (設置要綱施行日：令和2年9月1日、委員委嘱日：令和2年10月26日)</p> <p>【開催実績】 第1回：令和2年12月21日 第2回：令和3年3月25日</p>	<p>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催 【開催実績】 第1回：令和3年9月29日 第2回：令和4年3月25日</p> <p>2 函館市西部地区まちぐらしシンポジウムの開催 株式会社はこだて西部まちづくRe-Design（通称：HWeR）の設立を記念して開催。 【開催概要】 日時：令和3年8月28日 場所：五島軒 [プログラム] ・新会社社長挨拶・会社概要説明 ・基調講演 講演者 岡崎正信氏、北原啓司氏 ・パネルディスカッション 「西部地区のまちぐらしを語る」</p> <p>3 共創のまちぐらし推進プロジェクト企画会議の開催 共創のまちぐらし推進プロジェクトの本格的な取組を開始するにあたり、プロジェクトの目的や今後の方向性などを検討するため、西部地区まちぐらし検討会議委員をはじめ、地元事業者や市民等の参加により開催。 【開催実績】 第1回：令和3年7月10日 第2回：令和3年10月30日</p> <p>4 函館西部まちづくりBARの開催 西部地区で様々な活動に取り組んでいる関係者が参加し、函館西部まちづくりBAR実行委員会の主催（函館市共催）により試行開催。 【開催概要】 日時：令和4年1月17日 場所：港の庵 [プログラム] ・ゲストスピーカーによる話題提供 ・グループに分かれて意見交換</p>	<p>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催 【開催実績】 令和4年10月18日</p> <p>2 函館西部まちぐらし共創サロンの開催 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designおよび函館市西部地域振興協議会と連携し、共創のまちぐらし推進プロジェクトの推進にあたり、地域住民をはじめ、市民やまちづくりに関わる参加者が西部地区の未来を考え、まちぐらしを語り合い、共有する場として開催。 (令和4年7月～令和5年3月 計6回開催)</p> <p>3 函館西部まちなか空間利活用プロジェクトの実施 公園などのまちなか空間を舞台に、日常的に住民・市民が集い、観光客もひきつける西部地区ならではの魅力あふれる新たな賑わいと憩いの場の創出を図るため、民間事業者主体のプロジェクトにより多様な空間活用方策の検討・試行を実施。 【開催実績】 ・元町マーケット：令和4年7月 ・ナイトマーケット：令和4年8月 ・函館カレーフェス：令和4年10月 ・はこだてひかりのガーデン「元町フェスタ」：令和5年2月</p> <p>4 函館西部まちづくりBARの開催 函館西部まちづくりBAR実行委員会の主催（函館市協力）により開催。 【開催概要】 日時：令和5年1月10日 場所：街角NEWCULTURE [プログラム] ・ゲストスピーカーによる話題提供 ・意見交換</p> <p>5 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの連携 【函館西部地区ニュースの配信】 令和4年5月7日から配信を開始し、西部地区で活躍する「人」にフォーカスを当てながら、様々な活動やイベント、日常の風景等を発信。</p>	<p>1 西部地区まちぐらし検討会議の開催 2～3回開催。</p> <p>2 函館西部まちぐらし共創サロンの開催 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designおよび函館市西部地域振興協議会と連携し、高校生など若い世代をはじめ、市民やまちづくりに関わる参加者が西部地区の未来について考え、実践に向けて語り合う場として開催。</p> <p>3 新たなまちぐらし活動の創出への支援等 共創サロンで出たアイデアを広く周知し、興味をもつ市民や民間事業者等が主体となって実施する新たなまちづくり活動の創出に向けた支援や協力関係の構築等。</p> <p>4 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designとの連携 【函館西部地区ニュースの配信】 西部地区で活躍する「人」にフォーカスを当てながら、引き続き様々な活動やイベント、日常の風景等を発信。 【関係人口創出事業】 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designや地域企業等と連携し、「アート」を切り口に西部地区の魅力発信。</p>

重点プロジェクトのこれまでの取組と令和5年度の予定について

■ 既存ストック活性化プロジェクト

- 不動産データベースの構築 空地や未接道敷地等（低未利用不動産等）の所在地・規模・権利者等のデータベース化
- 民間の低未利用不動産等の流動化促進 民間実施団体による不動産の取得・仲介等
- 公有の低未利用不動産等の利活用 活用策の検討および地区の活性化に向けた積極的な展開

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（予定）
<p>1 西部地区再整備事業アドバイザーの設置 既存ストック活性化プロジェクトの推進にあたり、都市デザイン、都市経営、都市政策に関する分野の専門家から助言等を得るため、「西部地区再整備事業アドバイザー」を設置。 （設置要綱施行日：令和2年9月1日、アドバイザー委嘱日：令和2年11月16日） ※以降、各年度で、実施した事業や今後の事業推進に係る助言を受けたほか、先進事例や事業手法の紹介・意見交換により、事業実施の参考とした。</p> <p>2 低未利用不動産等の利活用に関する事業手法等の検討 西部地区ならではの居住と観光が融合したまちづくりを効果的に進めるため、全国各地で歴史的建造物等の観光資源を活用したまちづくりの実績がある「株式会社地域経済活性化支援機構」（通称：REVIC）の協力・提案を得ながら、民間実施団体の設立等について検討を実施。</p> <p>3 既存ストック活性化プロジェクト実施方針の策定 既存ストック活性化プロジェクトを推進するため、令和3年1月に、今後の具体的な事業計画や事業手法についての方針を策定。</p>	<p>1 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designの設立 西部地区ならではの居住と観光が融合したまちづくりを進めるため、令和3年7月に設立し、8月より本格的に事業を開始。 【会社概要】 会社名：株式会社はこだて西部まちづくRe-Design 所在地：函館市元町14-1（国際交流施設1階） 設立日：令和3年7月29日 資本金：5,000万円（函館市40%、民間60%） 事業内容：函館市西部地区におけるまちづくりや地域課題解決に資する不動産の利活用に関する業務 ほか</p> <p>2 都市再生推進法人の指定 都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき区域のまちづくりの中核を担う法人（都市再生推進法人）として、株式会社はこだて西部まちづくRe-Designを指定。 （指定日：令和3年10月11日）</p> <p>3 低未利用不動産等の利活用 【公有不動産再整備活用事業】 ・大町市有地 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designが地域事業者などと連携し、利活用イベントを開催。 【開催実績】 ・ローカルマーケットin大町改良ひろば ：令和3年10月23～24日 ・大町湯気市：悪天候により中止</p>	<p>1 低未利用不動産等の利活用 【公有不動産再整備活用事業】 ・旧北海道庁函館支庁庁舎 歴史的建造物である旧北海道庁函館支庁庁舎を、株式会社はこだて西部まちづくRe-Designがリニューアル工事を行い、令和4年8月11日より飲食店としてオープン。 ・西小・中学校跡地 民間事業者による西小・中学校跡地の活用のニーズや実現可能性を把握するため、当該地の活用の意思を持つ民間事業者から幅広く意見や提案を求めるサウンディング型市場調査を実施し、令和5年3月に報告書を公表。 ・大町市有地 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designが地域事業者などと連携し、利活用イベントを開催。 【開催実績】 ・STREETのおくの広場計画in大町 ：令和4年11月6日 【重点整備街区再整備事業】 3つの街区を対象に、現地調査や土地・建物所有者との協議等を進め、事業化に向けた検討を実施。</p> <p>2 空家等対策および西部地区再整備事業の推進に関する協定締結 函館市と公益社団法人北海道宅地建物取引業協会函館支部および公益社団法人全日本不動産協会北海道本部が連携・協力し、空家等対策および西部地区再整備事業に取り組むことにより、良好な生活環境の保全および安全で安心なまちづくりを推進するため協定を締結。 （締結日：令和4年7月6日）</p>	<p>1 低未利用不動産等の利活用 【公有不動産再整備活用事業】 ・西小・中学校跡地 活用にあたっての事業スキーム（事業方式や公募条件の整理など）の検討を実施。 ・大町市有地 株式会社はこだて西部まちづくRe-Designが地域事業者などと連携し、利活用イベントを開催。 【民有不動産再整備活用事業】 ・旧大洋漁業函館営業所 歴史的建造物である旧大洋漁業函館営業所を、株式会社はこだて西部まちづくRe-Designがリニューアル工事を行い、令和5年5月8日より凸版印刷株式会社のサテライトオフィスとしてオープン。 【重点整備街区再整備事業】 西部地区都市景観形成地域内の土地・建物所有者を対象に意向把握調査を実施し、事業化に向けた検討を実施。</p>

重点プロジェクトのこれまでの取組と令和5年度の予定について

■ 町会活性化プロジェクト

○ 新たな人材との協働による町会活性化の推進 モデル町会と市職員や学生等の新たな人材との協働による町会活性化のためのプロジェクトの実施

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度（予定）
<p>1 新たな人材・担い手との協働による町会運営の活性化に向けた方策の検討</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、モデル町会の選定および課題解決に向けた取組を見合わせる事となったが、若者が町会・地域コミュニティ活動に参加しやすい環境・仕組づくりなどの取組を推進するため、新たな人材・担い手として、弁天町に拠点がある「函館『荘』プロジェクト」の協力のもと、町会活性化に必要な方策等を検討。</p> <p>【プロジェクト会議開催実績】 第1回：令和2年12月16日 第2回：令和3年2月26日 第3回：令和3年3月23日</p>	<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施</p> <p>弁天町会をモデル町会として、新たな人材・担い手である「函館『荘』プロジェクト」のメンバー、町会および市職員の協働により、勉強会やお楽しみ会などを試行実施し、効果の検証等を実施。</p> <p>【勉強会（しゅくだいくらぶ等）】 大学生による学習サポートの実施 （令和3年4月・5月 計2回開催）</p> <p>【お楽しみ会（スマイルくらぶ等）】 大学生と子どもの協働による遊びの場の設置 （令和3年4月～12月 計9回開催）</p> <p>【その他】 公園の花植え（令和3年5月・6月） クリスマス会（令和3年12月） 活動報告会（令和4年1月）</p> <p>2 町会意見交換会の開催</p> <p>西部地区再整備事業基本方針に定める対象地区の町会を対象に、西部地区再整備事業の内容の共有と西部地区のまちづくりにおける地域課題等の認識を深める場として、意見交換会を開催。 （令和3年11月18日）</p>	<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施</p> <p>令和3年度に引き続き、弁天町会では新たな人材・担い手である「函館『荘』プロジェクト」のメンバー、町会および市職員の協働により、勉強会やお楽しみ会などを実施。</p> <p>また、新たに青柳町会および弥生町会をモデル町会として選定し、役員会や行事などへの参加を通して意見交換を行い、町会や地域の課題を把握したうえで、町会が自ら実施する課題解決に向けた取組に協力。</p> <p><弁天町会> 【お楽しみ会（スマイルくらぶ）】 大学生と子どもの協働による遊びの場の設置 （令和4年6月～令和5年1月 計4回開催）</p> <p><青柳町会> 【役員会等】 役員会および定期総会への参加、意見交換</p> <p>【出張販売等】 無印良品などによる出張販売（毎月）の視察</p> <p>【その他】 チャリティバザー（令和4年12月）</p> <p><弥生町会> 【役員会等】 役員会や茶話会への参加、意見交換</p> <p>【行事】 納涼祭：令和4年8月21日 ラジオ体操：令和4年7月25日～29日 敬老祝賀会：令和4年10月9日 クリスマス会：令和4年12月18日</p> <p>【函館西部地区まちぐらし相談】 NPO法人はこだて街なかプロジェクト主催で西部地域の住民や土地・建物所有者を対象とした相談会を実施（令和4年9月10日）</p> <p><3町会> 町会役員による函館西部まちぐらし共創サロンへの参加や函館西部地区ニュースへの出演など</p>	<p>1 モデル町会における町会活性化プロジェクトの試行実施</p> <p>令和4年度に引き続き、青柳町会および弥生町会をモデル町会として選定し、役員会や行事などへの参加を通して意見交換を行い、町会や地域の課題を把握したうえで、町会が自ら実施する課題解決に向けた取組に協力。</p> <p>また、新たな人材・担い手として、若者が町会・地域コミュニティ活動に参加しやすい環境・仕組づくりなどの取組を推進。</p>